

●指定管理者業務評価シート(初年度評価)

施設名	富田林市農業公園	施設所管課	農とみどり推進課
指定管理者名	農事組合法人 富田林市南地区協同組合		
指定期間(年度)	令和元年度 ~ 令和5年度	評価対象年度	令和 元 年度

①評価の実施方法

・以下の評価項目ごとに、指定管理者による『自己評価』及び施設所管課による『担当課評価』を実施し、その2つの評価結果を基に富田林市指定管理者選定委員会(以下、「委員会」という。)において、評価項目に対する評価及び総合評価を行う。

②評価基準

・自己評価及び担当課評価では小項目単位でa～dの4段階(aが最良)の評価を行い、仕様書や自らの提案(実施計画)の内容を満たす問題のない内容を「b」とする。
 ・委員会評価では、上記の2つの評価を基に委員会として1～10の10段階(10が最良)で評価を行う。点数の目安としては、業務仕様や提案内容を満たす問題のない管理運営がなされた場合に概ね70点とする。

③評価項目

評価項目	自己	担当課	委員会	
基本方針等	1 管理運営の基本方針に沿った運営がなされている。	b	b	7.2
	2 地域の人材、企業の活用等、地域活性化に寄与している。	a	b	
	3 地域との交流が図られている。	a	b	
行動規範	4 コンプライアンスの体制が十分である。	b	b	6.5
	5 施設利用における利用者の平等な利用が確保されている。	a	a	
	6 個人情報保護について、十分な対策が取られている。	b	b	
利用促進・利用者満足度の向上	7 利用実績(利用者数・利用率等)が要求水準に達している。	d	d	5.4
	8 利用促進策・利用者満足度向上策が、実施計画通り実行されている。	b	b	
	9 苦情への対応が適切である。	a	b	6.9
	10 利用者意見の把握が、積極的に行われている。	b	b	
自主事業	11 収集した利用者意見を事業に生かすしくみとなっている	a	a	6.4
	12 自主事業の規模が適正である。	a	a	
収支計画	13 自主事業の実施状況が適切である。	c	c	5.3
	14 利用料金収入が、年度収支計画の予算額を達成している。	d	d	
	15 本社経費を除く支出が、年度収支計画の予算額に比して妥当である。	a	a	
16 年度収支計画と比較して本社経費が妥当である。	a	a		
人員配置計画	17 人員配置(人数、有資格者)について、提案時に示された水準が守られている。	c	c	5.8
人材育成の考え方及び研修計画	18 人材育成方針及び研修計画に沿った研修が実施されている。	d	b	6.2
危機管理策	19 非常時の対応について必要な対策が講じられている。	d	b	6.4

	自己	担当課	委員会	
日常の安全管理	20 日常点検などにより施設の安全確保の対策が講じられている。	b	b	7.1
	21 修繕が適切に行われている。(指定管理者責任範囲)	a	a	
	22 備品の管理が適切に行われている。(指定管理者責任範囲)	b	b	
	23 外部委託した業務の点検等が行われている。	a	a	
その他	24 観光資源の開発および魅力発信事業実施回数が要求水準に達している。	b	b	7.2
	25 地元産品等の売上が要求水準に達している。	a	a	

④評価者コメント

指定管理者	令和元年度業務は、年度計画に対し入園者数が大幅に減少致しました。事業の先行きは少子高齢化、新型コロナウイルス等の突発事象、異常気象や来園者ニーズの変化など厳しい状況が予測されますが農業公園の活性化に向け職員のスキルアップ、顧客ニーズに合わせた活動を図り、「来て良かったサパーファーム、また来たいサパーファーム」と満足していただけるよう一層の努力を致します。また、市担当部署の適切なご助言及び利用者ニーズに応える為、施設等の改修工事もよろしくお願い致します。
施設所管課	令和元年度は10月の消費税増税に伴う景気後退に加えて一部、新型コロナウイルス感染症の流行の影響を受け、自主事業のうち、ぶどう・いちごの成績が振るわず有料入園者数は57,429人と過去最低を記録しました。なお、第4期指定管理期間で新たに位置づけた2項目の要求項目はいずれも達成しています。 新型コロナウイルスの影響を見通すことは困難ですが、感染のリスクが相対的に低いと考えられる屋外型施設の特徴を生かし、感染防止対策の徹底を前提に、有料入園者数の増加に繋がる、別途料金不要なイベント等の充実及び自主事業のさらなる充実を図ります。

⑤指定管理者選定委員会による総合評価

総合評価点数※	委員会講評
63.8 点 <small>(小数点第2位以下を四捨五入)</small>	個人情報保護対策や公益通報窓口等の構築、また、緊急時の迅速な対応など、早急に組織体制の強化を進められたい。また、農だけに頼らない経営的視点を持った職員の育成やスキルの養成を強く要望するとともに、利用促進策や利用者満足度の向上については、類似施設の先進事例や外部研修で得た知識を積極的に取り入れるなど、さらなる集客の工夫が必要である。 収支計画においては、自主事業も含め公共性の高い事業であることを勧告し、当初計画から大きく乖離が生じることのないよう正確な収支計画を立てられたい。

※ 各項目の得点の合計 $76.5 \div [委員会評価項目数(12項目) \times 各項目の配点(10点)] \times 100$

【参考】

1. 実績値(直近3ヶ年)	平成 29 年度		平成 30 年度		令和 元 年度	
	予算	決算	予算	決算	予算	決算
指定管理料	99,396	99,396	99,396	99,396	97,300	97,300
利用料金	40,800	38,143	40,900	32,666	40,900	28,053

2. 要求事項

年間交流人口数(有料入園者数+無料入園者数+にこにこ市場レジ件数)	
要求水準	80,000+10,000+67,527=157,527 人
目標	80,000+10,000+67,527=157,527 人
実績	57,429+8,307+86,265=152,001 人

→③評価項目7と関連

入園料以外の別途料金が不要な「イベント」及び「農にふれる体験」
を毎月2回以上開催

要求水準	2	回
目 標	2	回
実 績	2	回

→③評価項目24と関連

にこにこ市場の利用者数(レジ件数)
【対前年比1%増(参考:平成28~29年度 平均比 66,858件)】

要求水準	67,527	件
目 標	67,527	件
実 績	86,265	件

→③評価項目25と関連

●指定管理者業務評価シート(初年度評価)

施設名	富田林市立コミュニティセンター	施設所管課	地域福祉課
指定管理者名	社会福祉法人 富田林市社会福祉協議会		
指定期間(年度)	令和元年度 ~ 令和5年度	評価対象年度	令和 元 年度

①評価の実施方法

・以下の評価項目ごとに、指定管理者による『自己評価』及び施設所管課による『担当課評価』を実施し、その2つの評価結果を基に富田林市指定管理者選定委員会(以下、「委員会」という。)において、評価項目に対する評価及び総合評価を行う。

②評価基準

・自己評価及び担当課評価では小項目単位でa～dの4段階(aが最良)の評価を行い、仕様書や自らの提案(実施計画)の内容を満たす問題のない内容を「b」とする。
 ・委員会評価では、上記の2つの評価を基に委員会として1～10の10段階(10が最良)で評価を行う。点数の目安としては、業務仕様や提案内容を満たす問題のない管理運営がなされた場合に概ね70点とする。

③評価項目

評価項目	自己	担当課	委員会	
基本方針等	1 管理運営の基本方針に沿った運営がなされている。	b	b	7.9
	2 地域の人材、企業の活用等、地域活性化に寄与している。	b	a	
	3 地域との交流が図られている。	b	a	
行動規範	4 コンプライアンスの体制が十分である。	b	b	7.4
	5 施設利用における利用者の平等な利用が確保されている。	a	a	
	6 個人情報保護について、十分な対策が取られている。	b	b	
利用促進・利用者満足度の向上	7 利用実績(利用者数・利用率等)が要求水準に達している。	d	d	6.0
	8 利用促進策・利用者満足度向上策が、実施計画通り実行されている。	b	b	
	9 苦情への対応が適切である。	b	b	7.6
	10 利用者意見の把握が、積極的に行われている。	a	a	
自主事業	11 収集した利用者意見を事業に生かすしくみとなっている	a	a	7.3
	12 自主事業の規模が適正である。	a	a	
収支計画	13 自主事業の実施状況が適切である。	b	b	6.2
	14 利用料金収入が、年度収支計画の予算額を達成している。	c	c	
	15 本社経費を除く支出が、年度収支計画の予算額に比して妥当である。	a	a	
16 年度収支計画と比較して本社経費が妥当である。	a	a		
人員配置計画	17 人員配置(人数、有資格者)について、提案時に示された水準が守られている。	a	a	8.0
人材育成の考え方及び研修計画	18 人材育成方針及び研修計画に沿った研修が実施されている。	a	a	7.8
危機管理策	19 非常時の対応について必要な対策が講じられている。	b	b	7.2

	自己	担当課	委員会	
日常の安全管理	20 日常点検などにより施設の安全確保の対策が講じられている。	b	b	7.8
	21 修繕が適切に行われている。(指定管理者責任範囲)	a	a	
	22 備品の管理が適切に行われている。(指定管理者責任範囲)	b	b	
	23 外部委託した業務の点検等が行われている。	a	a	
その他	24 世代間交流に資する事業としての年間イベント数が要求水準に達している	b	b	7.1

④評価者コメント

指定管理者	利用満足度は、アンケート結果や利用者連絡協議会の交流会にて意見を聴取しております。要望内容は大きく分類し、掲示した意見は各企画立案の根拠になっています。実績としては、ホームページを独自に制作し、見える化に努め多言語にも対応可能となりました。各企画では、センター内を複数利用して頂けることをコンセプトに各イベントを進め、各団体、地域、企業にも参画いただきながら進める事ができました。今後も南東部の地域の拠点、施設機能を活かし、安定した管理運営及び定期的なニーズ把握を行いながら更なる発展に努めていきたいと考えております。
施設所管課	貸館利用者数や浴場利用者数を増加させるために、ふれあい体操、キッズランドといった新規事業の実施やカラオケ大会、かがりの郷祭りでの浴場利用無料券を景品にし、新規利用者の開拓を狙う計画を立てていたが、コロナウイルスにより、かがりの郷祭りやカラオケ大会の中止により利用者数、イベント数が目標に達することができなかった。また、自主事業では当初予定していた事業の中身を変更して実施するなど予定通りとならなかったが、利用者ニーズにあわせた実施内容であったため、利用者からは好評であった。他にも、施設PRのためのHPの開設、PRティッシュ配布など利用者増の工夫が見られた点は評価できる。

⑤指定管理者選定委員会による総合評価

総合評価点数※	委員会講評
73.6 点 <small>(小数点第2位以下を四捨五入)</small>	地域との連携におけるイベント企画については、実施方針や活動を具体的に定め、効果把握に努められたい。また、計画的な研修実施に努めるとともに、合同研修の開催や、個人情報保護に係る訓練実施など、より効果的な研修形式について検討されたい。利用者意見の把握のため、広聴機能の強化を望むとともに、世代間交流事業においては、多世代にわたり交流が図れる事業づくりに向けて、事業名称の工夫や情報収集に努め、利用者のニーズや関心が得られるよう、創意工夫を図られたい。総じて、施設の管理運営について、一定水準のサービス提供がなされていることから、今後も更なる利用者サービスの向上を期待します。

※ 各項目の得点の合計 $88.3 \div [委員会評価項目数(12項目) \times 各項目の配点(10点)] \times 100$

[参考]

1. 実績値(直近3ヶ年)	平成 29 年度		平成 30 年度		令和 元 年度	
	予算	決算	予算	決算	予算	決算
指定管理料	41,177	41,177	41,252	41,252	41,522	41,522
利用料金	5,202	4,501	5,254	4,765	5,084	4,568

2. 要求事項

貸館 年間利用者数	
要求水準	45,000 人以上
目標	45,000 人以上
実績	38,729 人以上

➡③評価項目7と関連

浴場 年間利用者数

要求水準	18,000	人以上
目 標	18,000	人以上
実 績	15,076	人以上

→③評価項目7と関連

世代間交流に資する事業としての年間イベント数

要求水準	10	回以上
目 標	12	回以上
実 績	10	回以上

→③評価項目24と関連

●指定管理者業務評価シート(初年度評価)

施設名	富田林市立総合福祉会館	施設所管課	地域福祉課
指定管理者名	社会福祉法人 富田林市社会福祉協議会		
指定期間(年度)	令和元年度 ~ 令和5年度	評価対象年度	令和 元 年度

①評価の実施方法

・以下の評価項目ごとに、指定管理者による『自己評価』及び施設所管課による『担当課評価』を実施し、その2つの評価結果を基に富田林市指定管理者選定委員会(以下、「委員会」という。)において、評価項目に対する評価及び総合評価を行う。

②評価基準

・自己評価及び担当課評価では小項目単位でa～dの4段階(aが最良)の評価を行い、仕様書や自らの提案(実施計画)の内容を満たす問題のない内容を「b」とする。
 ・委員会評価では、上記の2つの評価を基に委員会として1～10の10段階(10が最良)で評価を行う。点数の目安としては、業務仕様や提案内容を満たす問題のない管理運営がなされた場合に概ね70点とする。

③評価項目

評価項目	自己	担当課	委員会		
基本方針等	1 管理運営の基本方針に沿った運営がなされている。	b	b	7.7	
	2 地域の人材、企業の活用等、地域活性化に寄与している。	a	a		
	3 地域との交流が図られている。	b	b		
行動規範	4 コンプライアンスの体制が十分である。	b	b	7.2	
	5 施設利用における利用者の平等な利用が確保されている。	a	a		
	6 個人情報保護について、十分な対策が取られている。	b	b		
利用促進・利用者満足度の向上	7 利用実績(利用者数・利用率等)が要求水準に達している。	d	d	6.0	
	8 利用促進策・利用者満足度向上策が、実施計画通り実行されている。	b	b		
	9 苦情への対応が適切である。	b	b	7.6	
	10 利用者意見の把握が、積極的に行われている。	a	a		
	11 収集した利用者意見を事業に生かすしくみとなっている	a	a		
自主事業	12 自主事業の規模が適正である。	a	a	7.9	
	13 自主事業の実施状況が適切である。	a	a		
収支計画	14 利用料金収入が、年度収支計画の予算額を達成している。	d	d	5.7	
	15 本社経費を除く支出が、年度収支計画の予算額に比して妥当である。	a	a		7.8
	16 年度収支計画と比較して本社経費が妥当である。	a	a		
人員配置計画	17 人員配置(人数、有資格者)について、提案時に示された水準が守られている。	a	a	7.8	
人材育成の考え方及び研修計画	18 人材育成方針及び研修計画に沿った研修が実施されている。	b	b	7.1	
危機管理策	19 非常時の対応について必要な対策が講じられている。	b	b	7.4	

	自己	担当課	委員会	
日常の安全管理	20 日常点検などにより施設の安全確保の対策が講じられている。	b	b	7.5
	21 修繕が適切に行われている。(指定管理者責任範囲)	a	a	
	22 備品の管理が適切に行われている。(指定管理者責任範囲)	b	b	
	23 外部委託した業務の点検等が行われている。	a	a	
その他	24 教室・講座の年間参加人数が要求水準に達している	a	a	8.3

④評価者コメント

指定管理者	教室・講座についてはフルティックウォーキングやスマホ講座など健康的・文化的で、現在の利用者ニーズや時代の流行に先駆けた取り組みが功を奏し、年間参加人数が目標を大幅に達成しました。一方で、貸館利用者数に関してはコロナウイルス感染予防による閉館も伴い目標数を達成できておりません。また、浴場については様々な取り組みを企画しましたが、利用者の獲得数増加には繋がらず来年度以降の課題となっています。尚、令和元年度には指定管理を受託している他市町村社協へ施設での取り組みについてアンケートを実施しましたので、次年度以降の様々な取り組みに活用していきたいと思っています。
施設所管課	コロナウイルスの影響により、3月は休館したため貸館利用者数等の目標は達成できていないが、通常通り開館していた場合、利用率は目標を達成した。浴場については、指定管理者、担当課ともに危機感があり、両方で相談しながら、年度当初より、無料の日の実施、営業時間を1時間早める、季節の湯、クラブ連絡会にて風呂を改修し綺麗になったことを報告する等、いろいろな方策を実施したが利用者が減少する結果となった。今後も利用しなくなるようサービスの向上を検討していく。講座・教室については、利用者のニーズの高い健康体操教室の回数増加により利用者数が増加しており、評価できる。

⑤指定管理者選定委員会による総合評価

総合評価点数※	委員会講評
73.3 点 <small>(小数点第2位以下を四捨五入)</small>	貸館の利用にあたっては、利便性向上に向けて、ホームページでの周知や予約方法の改善について検討するとともに、利用促進策として、多様な高齢者へのアプローチを行い、福祉会館としての裾野を広げ、施設利用者の利用拡大を図る仕組みについて検討されたい。また、研修については、効率的に職員が受講できるよう、ジョブローテーションの活用なども組み合わせ、勤務体制や研修形式について検討を図られたい。浴場利用者数が減少傾向にある中、その必要性も含め、市内にある他の類似施設との役割について検証し、マーケティング調査を行うなど、今後の施設の方向性・管理運営について検討されたい。

※ 各項目の得点の合計 88.0 ÷ [委員会評価項目数(12項目)×各項目の配点(10点)]×100

[参考]

1. 実績値(直近3ヶ年)	平成 29 年度		平成 30 年度		令和 元 年度	
	予算	決算	予算	決算	予算	決算
指定管理料	50,255	50,255	50,399	50,399	48,838	48,838
利用料金	1,950	1,205	1,950	1,050	1,300	851

2. 要求事項

貸館 年間利用者数	
要求水準	45,000 人
目標	45,000 人
実績	40,076 人

→③評価項目7と相関

浴場 年間利用者数

要求水準	13,000	人
目 標	13,000	人
実 績	8,790	人

→③評価項目7と関連

教室・講座の年間参加人数

要求水準	2,500	人
目 標	2,500	人
実 績	3,117	人

→③評価項目24と関連

●指定管理者業務評価シート(初年度評価)

施設名	富田林市ケアセンター	施設所管課	地域福祉課
指定管理者名	ケアセンター管理運営共同事業体		
指定期間(年度)	令和元年度 ~ 令和5年度	評価対象年度	令和元年度

①評価の実施方法

・以下の評価項目ごとに、指定管理者による『自己評価』及び施設所管課による『担当課評価』を実施し、その2つの評価結果を基に富田林市指定管理者選定委員会(以下、「委員会」という。)において、評価項目に対する評価及び総合評価を行う。

②評価基準

・自己評価及び担当課評価では小項目単位でa～dの4段階(aが最良)の評価を行い、仕様書や自らの提案(実施計画)の内容を満たす問題のない内容を「b」とする。
 ・委員会評価では、上記の2つの評価を基に委員会として1～10の10段階(10が最良)で評価を行う。点数の目安としては、業務仕様や提案内容を満たす問題のない管理運営がなされた場合に概ね70点とする。

③評価項目

評価項目		自己	担当課	委員会
基本方針等	1 管理運営の基本方針に沿った運営がなされている。	b	b	8.0
	2 地域の人材、企業の活用等、地域活性化に寄与している。	a	a	
	3 地域との交流が図られている。	a	a	
行動規範	4 コンプライアンスの体制が十分である。	b	b	7.3
	5 施設利用における利用者の平等な利用が確保されている。	a	a	
	6 個人情報保護について、十分な対策が取られている。	b	b	
利用促進・利用者満足度の向上	7 利用実績(利用者数・利用率等)が要求水準に達している。	d	c	6.3
	8 利用促進策・利用者満足度向上策が、実施計画通り実行されている。	b	b	
	9 苦情への対応が適切である。	b	b	6.9
	10 利用者意見の把握が、積極的に行われている。	b	b	
	11 収集した利用者意見を事業に生かすしくみとなっている	b	b	
自主事業	12 自主事業の規模が適正である。	a	a	7.0
	13 自主事業の実施状況が適切である。	c	c	
収支計画	14 利用料金収入が、年度収支計画の予算額を達成している。	d	d	8.0
	15 本社経費を除く支出が、年度収支計画の予算額に比して妥当である。	a	a	
	16 年度収支計画と比較して本社経費が妥当である。	a	a	
人員配置計画	17 人員配置(人数、有資格者)について、提案時に示された水準が守られている。	a	a	8.0
人材育成の考え方及び研修計画	18 人材育成方針及び研修計画に沿った研修が実施されている。	b	b	7.4
危機管理策	19 非常時の対応について必要な対策が講じられている。	b	b	7.2

		自己	担当課	委員会
日常の安全管理	20 日常点検などにより施設の安全確保の対策が講じられている。	a	a	7.8
	21 修繕が適切に行われている。(指定管理者責任範囲)	a	a	
	22 備品の管理が適切に行われている。(指定管理者責任範囲)	b	b	
	23 外部委託した業務の点検等が行われている。	b	b	

④評価者コメント

指定管理者	新型コロナウイルス感染症拡大の影響や、施設改修の影響により利用実績が、計画値を達成することができなかった。また、収支においては、前記理由による利用料金収入が達成できなかったことや、平成31年度から施設清掃業務や建物管理業務等の委託金額が大幅増となったこと、開設して20年以上になる施設の老朽化による設備改修や備品更新費用が増となった。引き続き、利用料金収入の大部分を占めている老健施設の利用者の確保に向けて取り組むとともに、老朽化する施設の設備改修や備品更新を行いつつ、経費削減に取り組む必要があると考えます。
施設所管課	利用者数、利用料金収入を増加させるため、介護老人保健施設では入所事業で褥瘡マネジメント、排せつ支援等の充実や看取り事業の実施等、通所事業では短時間制度を新設した。入所については目標を達成できなかったが前年度より利用者は増加した。通所については、他のデイサービスが増加しリハビリを始めたことや送迎の課題等が原因で利用者が減少となった。利用者の確保をどうしていくかさらなる工夫が必要となっている。健康づくり・世代間交流施設では、利用時間の拡大を行うなど利用者サービス向上を実施している。新型コロナウイルスの影響により、利用者数は減少することとなったが、計画以上のサービス向上策を図られおり、評価できる。

⑤指定管理者選定委員会による総合評価

総合評価点数※	委員会講評
72.3 点 <small>(小数点第2位以下を四捨五入)</small>	事業報告については、地域との連携や健康づくり世代間交流施設における苦情・要望など、具体的な内容や対応を把握できるよう検討されたい。また、自主事業として行われている介護保険事業については、指定管理者と市が両輪となり、対象者への広報PRの工夫など、アウトリーチ活動を積極的に取り組まされたい。総じて、施設の管理運営について、一定水準のサービス提供がなされていることから、今後も更なる利用者サービスの向上を期待します。

※ 各項目の得点の合計 $79.5 \div [委員会評価項目数(11項目) \times 各項目の配点(10点)] \times 100$

[参考]

1. 実績値(直近3ヶ年)	平成 29 年度		平成 30 年度		令和 元 年度	
	予算	決算	予算	決算	予算	決算
指定管理料	134,812	134,812	133,099	133,099	127,907	127,907
利用料金	486,976	450,280	468,613	465,904	495,217	456,969

2. 要求事項

入所事業 年間利用延人数		
要求水準	25,000	人
目標	25,290	人
実績	24,925	人

→③評価項目7と相関

通所事業 年間利用延人数		
要求水準	10,000	人
目 標	10,506	人
実 績	8,395	人

→③評価項目7と関連

ウェルネス施設年間利用者数		
要求水準	75,000	人
目 標	75,000	人
実 績	66,596	人

→③評価項目7と関連

講座・教室の年間参加人数		
要求水準	21,000	%
目 標	21,000	%
実 績	18,881	%

→③評価項目7と関連

●指定管理者業務評価シート(初年度評価)

施設名	富田林市立市民総合体育館他21施設および富田林市立総合スポーツ公園	施設所管課	生涯学習課
指定管理者名	ミズノグループ		
指定期間(年度)	令和元年度 ~ 令和5年度	評価対象年度	令和元年度

①評価の実施方法

・以下の評価項目ごとに、指定管理者による『自己評価』及び施設所管課による『担当課評価』を実施し、その2つの評価結果を基に富田林市指定管理者選定委員会(以下、「委員会」という。)において、評価項目に対する評価及び総合評価を行う。

②評価基準

・自己評価及び担当課評価では小項目単位でa~dの4段階(aが最良)の評価を行い、仕様書や自らの提案(実施計画)の内容を満たす問題のない内容を「b」とする。
 ・委員会評価では、上記の2つの評価を基に委員会として1~10の10段階(10が最良)で評価を行う。点数の目安としては、業務仕様や提案内容を満たす問題のない管理運営がなされた場合に概ね70点とする。

③評価項目

評価項目	自己	担当課	委員会
基本方針等	1 管理運営の基本方針に沿った運営がなされている。	a	a
	2 地域の人材、企業の活用等、地域活性化に寄与している。	b	b
	3 地域との交流が図られている。	a	a
行動規範	4 コンプライアンスの体制が十分である。	b	b
	5 施設利用における利用者の平等な利用が確保されている。	a	a
	6 個人情報保護について、十分な対策が取られている。	b	b
利用促進・利用者満足度の向上	7 利用実績(利用者数・利用率等)が要求水準に達している。	d	d
	8 利用促進策・利用者満足度向上策が、実施計画通り実行されている。	b	b
	9 苦情への対応が適切である。	c	c
	10 利用者意見の把握が、積極的に行われている。	a	a
	11 収集した利用者意見を事業に生かすしくみとなっている	a	a
自主事業	12 自主事業の規模が適正である。	a	a
	13 自主事業の実施状況が適切である。	c	c
収支計画	14 利用料金収入が、年度収支計画の予算額を達成している。	d	d
	15 本社経費を除く支出が、年度収支計画の予算額に比して妥当である。	a	a
	16 年度収支計画と比較して本社経費が妥当である。	a	a
人員配置計画	17 人員配置(人数、有資格者)について、提案時に示された水準が守られている。	a	a
人材育成の考え方及び研修計画	18 人材育成方針及び研修計画に沿った研修が実施されている。	b	b
危機管理策	19 非常時の対応について必要な対策が講じられている。	a	a

	自己	担当課	委員会
日常の安全管理	20 日常点検などにより施設の安全確保の対策が講じられている。	a	a
	21 修繕が適切に行われている。(指定管理者責任範囲)	c	c
	22 備品の管理が適切に行われている。(指定管理者責任範囲)	b	b
	23 外部委託した業務の点検等が行われている。	a	a
			6.9

④評価者コメント

指定管理者	施設の管理運営において『安心・安全・信頼をお届けする』を念頭に置き、取り組んでまいりました。施設の規模が大きくなり、より一層ミズノとしての力を発揮できるよう邁進いたしました。自主事業においては当初計画未達に終わり、課題が残る結果となりました。しかしながら、年度後半から定期イベントが徐々に定着してきており、今後に向けて新たな取り組みができると実感しております。また、次年度におきましては市政70周年という節目の年でもあり、新たなご提案ができればと考えております。
施設所管課	利用料金収入が予算額を下回ったのは、新型コロナウイルス感染症による屋内スポーツ施設が3月に休館となった影響と考えます。令和元年度より、一括管理による運営となり、人件費が当初想定していた予算額を上回る結果となりましたが、支出金額においては予算額と同程度に留めるなど、概ね適正な維持管理に努められた。令和2年度は市制70周年となることから、感染症予防対策に徹底的に努め、積極的にスポーツイベント等の開催に努めていただきたい。

⑤指定管理者選定委員会による総合評価

総合評価点数※	委員会講評
72.2 点 <small>(小数点第2位以下を四捨五入)</small>	苦情への対応については、市の定期モニタリング等において適宜、確認・指導等を行い、改善状況を把握するとともに、指定管理者においては、適切に管理運営に反映されるよう取り組まれない。また、利用形態に合わせた施設の空き状況などを積極的に情報発信することで利用者の利便性を向上させるとともに、利用者が平等に利用できるよう早急に対策を講じられたい。自主事業の実施にあたっては、各々の施設がより効果的に利用されるようニーズの把握や事業展開の工夫に努め、更には連携事業者と積極的な交流を行うなど関係性の構築に努められたい。最後に、施設全体におけるマネジメントの重要性を改めて認識し、効果的な人員配置を図られたい。

※ 各項目の得点の合計 $79.4 \div [委員会評価項目数(11項目) \times 各項目の配点(10点)] \times 100$

【参考】

1. 実績値(直近3ヶ年)	平成 29 年度		平成 30 年度		令和 元 年度	
	予算	決算	予算	決算	予算	決算
指定管理料	106,950	106,950	106,950	106,950	97,010	97,010
利用料金	30,500	30,906	30,700	31,549	32,160	30,280

2. 要求事項

市民総合体育館 稼働率 【対前年比2%増(参考:平成27~29年度 平均稼働率58.23%)】	
要求水準	59.39 %
目標	61.79 %
実績	65.2 %

→③評価項目7と相関

青少年スポーツホール 稼働率 【対前年比2%増(参考:平成27~29年度 平均稼働率61.50%)】		
要求水準	62.73	%
目 標	63.98	%
実 績	58.0	%

→③評価項目7と関連

津々山台第2テニスコート 稼働率 【対前年比1%増(参考:平成27~29年度 平均稼働率33.73%)】		
要求水準	34.07	%
目 標	34.41	%
実 績	27.7	%

→③評価項目7と関連

中野テニスコート 稼働率 【対前年比1%増(参考:平成27~29年度 平均稼働率18.63%)】		
要求水準	18.82	%
目 標	19.00	%
実 績	15.9	%

→③評価項目7と関連

総合スポーツ公園 多目的グラウンド(全面) 稼働率 【対前年比1%増(参考:平成27~29年度 平均稼働率40.40%)】		
要求水準	40.80	%
目 標	41.21	%
実 績	42.8	%

→③評価項目7と関連

総合スポーツ公園 野球場 稼働率 【対前年比1%増(参考:平成27~29年度 平均稼働率66.27%)】		
要求水準	66.93	%
目 標	67.60	%
実 績	78.5	%

→③評価項目7と関連

総合スポーツ公園 テニスコート 稼働率 【対前年比3%増(参考:平成27~29年度 平均稼働率50.97%)】		
要求水準	52.50	%
目 標	53.55	%
実 績	61.7	%

→③評価項目7と関連

●指定管理者業務評価シート(初年度評価)

施設名	すばるホール	施設所管課	生涯学習課
指定管理者名	公益財団法人 富田林市文化振興事業団		
指定期間(年度)	令和元年度 ~ 令和5年度	評価対象年度	令和元年度

①評価の実施方法

・以下の評価項目ごとに、指定管理者による『自己評価』及び施設所管課による『担当課評価』を実施し、その2つの評価結果を基に富田林市指定管理者選定委員会(以下、「委員会」という。)において、評価項目に対する評価及び総合評価を行う。

②評価基準

・自己評価及び担当課評価では小項目単位でa～dの4段階(aが最良)の評価を行い、仕様書や自らの提案(実施計画)の内容を満たす問題のない内容を「b」とする。
 ・委員会評価では、上記の2つの評価を基に委員会として1～10の10段階(10が最良)で評価を行う。点数の目安としては、業務仕様や提案内容を満たす問題のない管理運営がなされた場合に概ね70点とする。

③評価項目

評価項目		自己	担当課	委員会	
基本方針等	1 管理運営の基本方針に沿った運営がなされている。	a	a	8.4	
	2 地域の人材、企業の活用等、地域活性化に寄与している。	a	a		
	3 地域との交流が図られている。	a	a		
行動規範	4 コンプライアンスの体制が十分である。	a	a	7.9	
	5 施設利用における利用者の平等な利用が確保されている。	a	a		
	6 個人情報保護について、十分な対策が取られている。	b	b		
利用促進・利用者満足度の向上	7 利用実績(利用者数・利用率等)が要求水準に達している。	b	b	7.3	
	8 利用促進策・利用者満足度向上策が、実施計画通り実行されている。	b	b		
	9 苦情への対応が適切である。	a	a	7.4	
	10 利用者意見の把握が、積極的に行われている。	b	b		
	11 収集した利用者意見を事業に生かすしくみとなっている	a	a		
自主事業	12 自主事業の規模が適正である。	a	a	6.8	
	13 自主事業の実施状況が適切である。	d	d		
収支計画	14 利用料金収入が、年度収支計画の予算額を達成している。	d	d	5.9	
	15 本社経費を除く支出が、年度収支計画の予算額に比して妥当である。	a	a		8.1
	16 年度収支計画と比較して本社経費が妥当である。	a	a		
人員配置計画	17 人員配置(人数、有資格者)について、提案時に示された水準が守られている。	a	a	8.1	
人材育成の考え方及び研修計画	18 人材育成方針及び研修計画に沿った研修が実施されている。	a	a	7.9	
危機管理策	19 非常時の対応について必要な対策が講じられている。	a	a	7.8	

		自己	担当課	委員会
日常の安全管理	20 日常点検などにより施設の安全確保の対策が講じられている。	a	a	7.6
	21 修繕が適切に行われている。(指定管理者責任範囲)	a	a	
	22 備品の管理が適切に行われている。(指定管理者責任範囲)	a	a	
	23 外部委託した業務の点検等が行われている。	b	b	
その他	24 市民参加型事業開催回数(要求事項)が要求水準に達している	a	a	7.9

④評価者コメント

指定管理者	指定管理の新たな期間の1年目として事業費削減の影響を最小限に抑えるべく市民との協働を軸として多岐にわたる事業に取り組みました。自主事業においては将来のジュニアオーケストラ誕生を目指し新たに教室事業を展開。一般利用に配慮しながら施設利用率の向上にも努めました。新型コロナウイルス感染拡大防止によるイベント自粛の影響を大きく受け、プラネタリウムを含む16事業が中止・延期となりましたが、職員一丸となり対応にあたったため、お客様の混乱は最小限にとどめることができたと考えます。
施設所管課	すばるホールが文化を創造する拠点として広く市民に利用されるよう、今後も利用者ニーズの積極的な把握を進めるとともに、市民参加型事業を中心とした、多彩な文化事業の展開や幅広い周知に努め、市民文化の振興を図りたい。また、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、安全・安心な施設管理運営への業務改善、利用者の低迷や講座、イベントの自粛等による、収入の減少が当面続くと見込まれ、経営環境が非常に厳しい中であるが、安定的、継続的な施設の管理運営に資するよう、職員一丸となり、創意工夫に努められたい。

⑤指定管理者選定委員会による総合評価

総合評価点数※	委員会講評
75.9 点 <small>(小数点第2位以下を四捨五入)</small>	文化振興活動におけるビジョンを明確に示し、多様な世代のニーズに即した事業展開や集客方法について検討を行い、文化活動をプロデュースする若者の育成や支援など、新しい文化の芽を育む活動に取組まれたい。また、利用形態に合わせた施設の空き状況などを積極的に情報発信し、利用者の利便性向上や利用促進に努めるとともに、各種研修においては、「法人」「指定管理者」各々の役割を明確に位置付け、得られた成果や先進的な取組み事例などを今後の事業展開に活かすことで、さらに施設運営に活かされるものと期待する。これまでの評価結果を真摯に受けとめ、様々な工夫のもと管理運営が行われており、今後も更なる利用者サービスの向上に取組まれたい。

※ 各項目の得点の合計 $91.1 \div [委員会評価項目数(12項目) \times 各項目の配点(10点)] \times 100$

[参考]

1. 実績値(直近3ヶ年) 【千円】

	平成 29 年度		平成 30 年度		令和 元 年度	
	予算	決算	予算	決算	予算	決算
指定管理料	227,734	227,216	228,476	228,476	207,922	200,351
利用料金	58,100	57,171	58,400	56,005	58,400	52,929

2. 要求事項

ホール・展示室・レセプションホール 稼働率 【対前年比1%増(参考:平成27~29年度 平均稼働率48.0%)】	
要求水準	48.5 %
目標	51.7 %
実績	50.2 %

➡③評価項目7と関連

市民参加型事業開催回数 【5種類 20回以上】	
要求水準	5種類 20回
目標	6種類 21回
実績	6種類 21回

➡③評価項目24と関連

●指定管理者業務評価シート(初年度評価)

施設名	富田林市市民会館	施設所管課	生涯学習課
指定管理者名	アクティオ株式会社		
指定期間(年度)	令和元年度 ~ 令和5年度	評価対象年度	令和元年度

①評価の実施方法

・以下の評価項目ごとに、指定管理者による『自己評価』及び施設所管課による『担当課評価』を実施し、その2つの評価結果を基に富田林市指定管理者選定委員会(以下、「委員会」という。)において、評価項目に対する評価及び総合評価を行う。

②評価基準

・自己評価及び担当課評価では小項目単位でa～dの4段階(aが最良)の評価を行い、仕様書や自らの提案(実施計画)の内容を満たす問題のない内容を「b」とする。
 ・委員会評価では、上記の2つの評価を基に委員会として1～10の10段階(10が最良)で評価を行う。点数の目安としては、業務仕様や提案内容を満たす問題のない管理運営がなされた場合に概ね70点とする。

③評価項目

評価項目	自己	担当課	委員会
基本方針等	1 管理運営の基本方針に沿った運営がなされている。	a	a
	2 地域の人材、企業の活用等、地域活性化に寄与している。	a	a
	3 地域との交流が図られている。	a	a
行動規範	4 コンプライアンスの体制が十分である。	a	a
	5 施設利用における利用者の平等な利用が確保されている。	a	a
	6 個人情報保護について、十分な対策が取られている。	a	a
利用促進・利用者満足度の向上	7 利用実績(利用者数・利用率等)が要求水準に達している。	d	d
	8 利用促進策・利用者満足度向上策が、実施計画通り実行されている。	c	c
	9 苦情への対応が適切である。	a	a
	10 利用者意見の把握が、積極的に行われている。	a	a
自主事業	11 収集した利用者意見を事業に生かすしくみとなっている	a	a
	12 自主事業の規模が適正である。	a	a
収支計画	13 自主事業の実施状況が適切である。	c	c
	14 利用料金収入が、年度収支計画の予算額を達成している。	d	d
	15 本社経費を除く支出が、年度収支計画の予算額に比して妥当である。	a	a
人員配置計画	16 年度収支計画と比較して本社経費が妥当である。	a	a
	17 人員配置(人数、有資格者)について、提案時に示された水準が守られている。	a	a
人材育成の考え方及び研修計画	18 人材育成方針及び研修計画に沿った研修が実施されている。	a	a
危機管理策	19 非常時の対応について必要な対策が講じられている。	a	a

	自己	担当課	委員会
日常の安全管理	20 日常点検などにより施設の安全確保の対策が講じられている。	a	a
	21 修繕が適切に行われている。(指定管理者責任範囲)	a	a
	22 備品の管理が適切に行われている。(指定管理者責任範囲)	a	a
	23 外部委託した業務の点検等が行われている。	a	b
			8.0

④評価者コメント

指定管理者	今年度は、利用者からの要望に基づき、多目的ホールの抽選方法を変更するため、システム設定の構築作業を行っております。この変更により、従来のアナログ方式から、インターネット等での申込みと、システムによる機械抽選という運用方法となり、利用者は自宅から抽選に申し込むことが可能になるという、利用者目線に立った運用方法の大幅な改善を実施いたしました。他方、大型台風や新型コロナウイルスによる影響から、利用キャンセルや自主事業の中止も増加し、利用率が低下しているものの、各種研修を着実に積み重ね、勤務体制が安定した地元スタッフによる確実な運用に努力し、健康と安全に配慮した施設運営に尽力する年度となりました。
施設所管課	市民劇場をはじめとした様々な交流イベントの実施を通じて地域団体・地域住民との積極的な交流をもち、地域社会との連携による施設価値の向上、ひいては地域振興への寄与という基本的な提案に沿った展開が認められ、その点は非常に評価できる。しかしながら、コロナ感染症の影響もあり、利用率・利用者数および利用料金収入は激減している。今回の実績については指定管理者の努力不足によるものではないが、今後、日常生活で取り入れられる新しい生活様式を活かしながら、施設の有効活用、利用促進を図っていく方を検討されたい。

⑤指定管理者選定委員会による総合評価

総合評価点数※	委員会講評
75.5 点 <small>(小数点第2位以下を四捨五入)</small>	個人情報保護に係る研修については、より効果を高めるため、訓練実施を行うなど研修形式の工夫について検討されたい。なお、他の研修においては、様々な工夫が見られ非常に良い内容で実施されたと評価できる。また、地域団体の育成という観点から、各種団体が主体性をもって活動できる拠点づくりや、団体同士が共に活動できるような機会の提供に努められたい。更には、「利用者の満足度」・「地域団体の主体性の育み」いずれもが相互に作用し合い、相乗効果を生むことで更なる利用促進を期待したい。

※ 各項目の得点の合計 $83.1 \div [委員会評価項目数(11項目) \times 各項目の配点(10点)] \times 100$

[参考]

1. 実績値(直近3ヶ年)	平成 29 年度		平成 30 年度		令和 元 年度	
	予算	決算	予算	決算	予算	決算
指定管理料	54,856	55,391	54,958	54,958	56,880	56,880
利用料金	20,800	16,851	20,800	16,505	19,568	15,042

2. 要求事項

市民センター 稼働率 【対前年比1%増(参考:平成27~29年度 平均稼働率67.50%)】	
要求水準	68.2 %
目標	68.2 %
実績	67.3 %

→③評価項目7と相関

市民コミュニティの醸成	
目標	市民団体・地域団体等との連携事業の展開

→③評価項目3と相関